

命とくらし守るヒロシマ

目次

はじめに	1		
第一部 総論			
1. 市民生活、防災優先の市政に	6		
2. 市民に向けた財政への転換を	17		
第二部 地方自治体の役割			
広島市役所の職場から	24		
第三部 各論			
I. 豪雨災害			
1. 2014年8・20広島土砂災害復旧と復興	32		
2. 西日本豪雨災害	37		
3. 広島高速5号線建設の現在と今後	45		
4. 市議会での豪雨災害対応	50		
II. 子ども子育て			
1. 育ちの場としての障害児支援	58		
2. 行政の責任で公立保育園の充実を	65		
3. 子どもたちの育ちを保障する学童保育指導員	69		
4. 強まった有料化と民営化の学童保育	76		
5. 子どもたちの居場所『児童館』	80		
III. 福祉・医療・介護			
1. 住まいは人権 広島市営住宅の現状	85		
2. 住民のための真の介護保険制度に	90		
3. 高齢者交通費利用助成	99		
4. 広島市の国民健康保険制度を考える	102		
5. 広島市立病院の独立行政法人化からの4年	106		
6. 広島市の障害児者の福祉政策の問題点	110		
7. こども医療費補助制度	118		
8. 福祉施設と相いれない指定管理者制度	122		
IV. すべての子どもの成長を保障する学校づくりを	127		
V. 文化・社会教育			
1. 公民館で地域住民とともに学ぶ	132		
2. 地域を支える情報拠点としての図書館の役割	139		
3. 動植物公園や昆虫館は、生きものたちが主役	144		
VI. 平和行政			
1. 平和都市の観光行政へ — 「かき船かなわ」を問う—	148		
2. 松井市政にみる平和の発信とは	153		
VII. 町内会活動と自治体の役割	159		
VIII. 中小企業振興条例と広島の地域経済	164		
第四部 資料編			
広島市職員数の推移	172		
区役所職員数の推移	175		
土砂災害被害概要	176		
統計で見る広島市区のすがた2018	178		